トヨタエナジーソリューションズ
行動指針

2023 年 11 月

株式会社トヨタエナジーソリューションズ

急激な環境変化の中、今私たちが求められていることは新たな付加価値を生み出していくことへの改革とチャレンジです。

一方では、変える、挑戦するためには、今の現実をしっかりと見つめて正しく行動していくことが基本となります。
長年培ってきた経験や積み上げてきた実績に基づく信頼・信用を、一瞬にして失うようなことは決してあってはなりません。
一人ひとりが自ら考え、責任ある行動で、確実に次の発展につなげていくことが大切です。

その行動の中で、おかしいと思ったことに対して声を上げる、マネージャー自らが積極的に声を吸い上げる、この繰り返しがやがては個人の成長と強固な企業風土・文化の構築につながっていく、と私は考えています。

私たちトヨタエナジーソリューションズの事業の根幹はエネルギーであり、まさに行動の源泉そのものです。

この「トヨタエナジーソリューションズ行動指針」を健全な企業活動の拠り所とし、私たちのエネルギーを正しく、賢く使って、「脱炭素社会とその先にある豊かな社会」を一歩ずつ着実に実現していきましょう。

取締役社長
梅村　晋

目次

トヨタエナジー基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
トヨタエナジー行動指針とは？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
豊田綱領・・・4
トヨタフィロソフィー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第１章　人との関わり

明るい職場づくり・・6
人権・・・7
個人情報・・8

第２章　社会との関わり

環境・・9
交通安全への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
社会貢献活動と地域社会との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
官公庁との関係・政治活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
企業広報活動・・１３

第３章　誠実な事業活動

安全性の追求と製品の品質・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
研究開発活動・・１５
調達活動・・１６
営業活動と公正な競争・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
国際的な事業活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
正確な記録管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
資産の保護と機密管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
インサイダー取引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

第４章　フェアな活動

贈収賄防止・・２２
贈答・接待・・２３
マネーロンダリング防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
利益相反・・２５

スピークアップ

通報者保護・・２６
スピークアップの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

トヨタエナジー基本理念

1. 法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、社会から信頼される企業市民をめざす
2. 各国、各地域の文化・慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
3. クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
4. 技術の研究と開発に努め、お客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
5. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
6. グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
7. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

トヨタエナジー行動指針とは？

ここに記載されている「トヨタエナジー行動指針」は、「トヨタ行動指針」を基に作成し、私たち一人ひとりが、社会生活・会社生活において規範とすべき指針をまとめたものです。

「トヨタエナジー行動指針」は、誠実な行動を行うために重要な留意点が幅広く記載されていますが、すべての状況が網羅されているわけではありません。

何が誠実な行動なのか分からない時には、以下の質問を自らに尋ねてみてください。

①あなたの行動は **トヨタエナジーの価値観、方針、およびトヨタエナジー行動指針**と一致していますか？	②あなたは自らの行動を **会社の仲間や家族に対して誇れますか**？	③世界中の人々が あなたの行動を知ったとき 自信を持って**その正当性を説明できますか？**

もし、「はい」と答えられない質問がある場合、行動する前に一度立ち止まり、周囲の助けを求めるために声を上げてください。

豊田綱領

一、上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙ぐべし

一、研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし

一、華美を戒め、質実剛健たるべし

一、温情友愛の精神を発揮し、家庭的美風を作興すべし

一、神仏を尊崇し、報恩感謝の生活を為すべし

創業以来今日まで、トヨタの経営の「核」として貫かれてきたのが「豊田綱領」です。トヨタグループの創始者、豊田佐吉の考え方をまとめたもので、トヨタの DNA となっています。
当初は確固たる形があったわけではありません。しかし関係会社の規模が拡大するにつれ、従業員に周知徹底すべく明文化する必要性が出てきました。そこで草創期の豊田利三郎、豊田喜一郎らが佐吉の遺訓としてまとめ、世に出たのが「豊田綱領」です。 佐吉の 6 回忌に当たる 1935 年 10 月 30 日のことでした。

トヨタフィロソフィー

トヨタ自動車株式会社は、2020 年、モビリティカンパニーへの変革を進めるために、改めて歩んできた道を振り返り、未来への道標となる「トヨタフィロソフィー」をまとめました。

VALUE

トヨタウェイ

ソフト、ハード、パートナーの
３つの強みを融合し、唯一無二の
価値を生み出す

MISSION

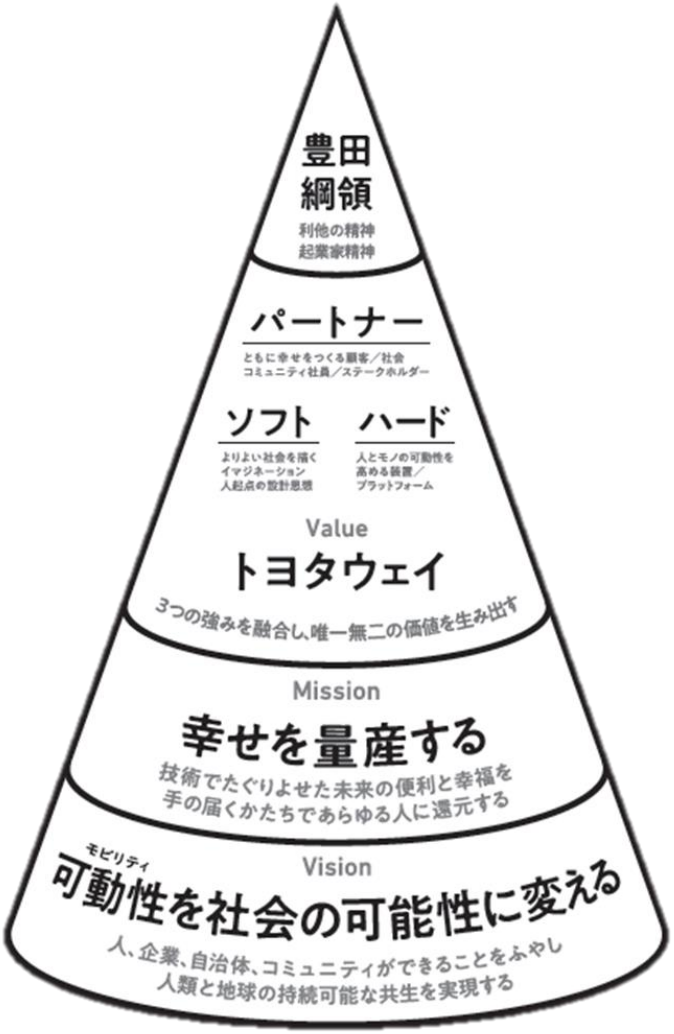
わたしたちは、幸せを量産する

技術でたぐりよせた未来の便利と幸福を
手の届くかたちであらゆる人に還元する

VISION

可動性(モビリティ)を社会の可能性に変える

人、企業、自治体、コミュニティが
できることをふやし、人類と地球の
持続可能な共生を実現する



第 1 章　人との関わり

明るい職場づくり

私たちは、お互いを尊重し合い、健全で安全な職場環境をつくります。

方針

- トヨタエナジーは、働く仲間の多様性を尊重し、互いを信頼し認め合う一人ひとりが活躍できる職場を目指します。
- トヨタエナジーは、差別やハラスメントのない、安全で快適な職場づくりに取り組みます。
- トヨタエナジーは、労働・雇用に関する法令および規則を遵守するとともに、均等な雇用機会の提供と、労働条件の維持向上に努めます。

コミットメント

- 誠実に仕事をし、自らの能力を最大限に発揮して、最善を尽くします。
- 仲間のアイデアに耳を傾け、様々な考えや意見を尊重します。
- ハラスメントを行わず、差別をしません。
- ダイバーシティを推進し、問題解決と変革に努めます。
- 安全に関する手順に従い、法令および規則を遵守します。
- 事故や傷病が発生した場合には、被害拡大防止に努め、直ちに報告します。

人権

私たちは、人権を尊重します。

方針

- トヨタエナジーは、お客様や従業員、そしてトヨタエナジーの事業活動に関わるあらゆる人の人権を尊重します。

コミットメント

- 「世界人権宣言」および「国連ビジネスと人権に関する指導原則」を尊重し、「トヨタ自動車人権方針」を遵守します。
- 賃金、福利厚生、児童労働、強制労働等に関する国際的な人権に関する義務、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- ビジネスパートナーの選定には、人権の観点からの適切な調査(デューデリジェンス)を実施します。

※指針となる資料

トヨタ自動車人権方針

個人情報

私たちは、お客様および従業員のプライバシーを尊重し、個人情報を保護します。

方針

- トヨタエナジーは、個人情報の取り扱いにおいて、法令の遵守を徹底するとともに、プライバシーに配慮する「プライバシーバイデザイン」に取り組み、お客様に選ばれる製品・サービスを提供します。
- トヨタエナジーは、仕入先・協力会社などのビジネスパートナーと協力し、適切かつ長期的な観点から、個人情報管理体制を構築します。
- トヨタエナジーは、従業員に対し継続的に教育を実施し、プライバシー尊重の企業文化を醸成します。

コミットメント

- お客様の声に真摯に耳を傾け、お客様のプライバシーを尊重します。
- お客様の個人情報を利用するときは、責任をもって扱い、お客様に寄り添った製品・サービスを生み出し、お客様の幸福と満足を目指します。
- 法令、規則および会社のルールを遵守し、個人情報を適切に管理します。

第 2 章　社会との関わり

環境

私たちは、環境負荷の低減と、持続可能な社会の実現に貢献します。

方針

- トヨタエナジーは、クリーンで安全な製品を提供します。
- トヨタエナジーは、「トヨタ地球環境憲章」と「トヨタ環境チャレンジ2050」を通じ、積極的に環境負荷の低減を目指し、また資源を持続させる活動を行います。
- トヨタエナジーは、製品のライフサイクル全体における環境負荷を評価し、その低減に努めます。
- トヨタエナジーは、仕入先、協力会社などのビジネスパートナーと連携して、環境への取り組みを継続的に推進していきます。

コミットメント

- 国際的な環境基準を遵守し、地域の環境問題に積極的に取り組みます。
- 環境に与える影響を予測・評価し、環境リスクの回避や低減に努めます。

※指針となる資料

トヨタ地球環境憲章

トヨタ環境チャレンジ 2050

交通安全への取り組み

私たちは、安全で快適な社会の実現のため、交通社会に関わる「人」に向けた交通安全啓発活動を社内外で積極的に進め、トヨタエナジーで働く人々だけでなく、社会全体の交通安全に関する意識の高揚に取り組みます。

方針

- トヨタエナジーは、交通安全啓発活動を支持し、積極的に推進します。
- トヨタエナジーは、社会の模範となるドライバーになるという認識を常に持ち、交通ルールを遵守して、事故を起こさず、事故に巻き込まれないように努めます。
- トヨタエナジーは、交通事故の防止だけでなく、譲り合いに努め、交通マナーを守った思いやりある人と地球環境に優しい運転を心掛けます。
- トヨタエナジーは、万一、交通事故に遭遇したときは、機敏な処置を取ります。

コミットメント

- 交通ルールを遵守し、他の模範となる思いやりある運転に努め、交通安全を積極的に推進します。

社会貢献活動と地域社会との関係

私たちは、地域社会での社会貢献活動を通じ、持続可能な社会の実現を目指します。

方針

- トヨタエナジーは、地域に根差した社会貢献活動を行います。また、良き企業市民として、地域や社会が抱える課題に取り組みます。
- トヨタエナジーは、防災活動に取り組み、災害時の地域の復旧活動にも貢献します。

コミットメント

- 一人ひとりがボランティア活動などの社会貢献活動に積極的に参加します。
- 寄付・協賛を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- 不当に便宜を獲得する目的で寄付・協賛を行いません。

※指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

官公庁との関係・政治活動

私たちは、社会人として政治へ参加することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

方針

- トヨタエナジーは、官公庁と適切で透明な関係を維持します。
- トヨタエナジーは、政治(政党)・行政(官公庁)と透明かつ公正な関係づくりに努め、法令および規則に従い適切な行動をとります。

コミットメント

- 政治・行政および公務員との健全かつ透明な関係を維持します。
- 政治献金や寄付を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。また、トヨタエナジーに関する意思決定に影響を与えたり、その他の不当に便宜を獲得したりする目的で政治献金や寄付を行いません。

※指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

企業広報活動

私たちは、正確かつ適切な情報をタイムリー、オープンかつフェアにステークホルダーへ届けます。

方針

- トヨタエナジーは、タイムリー、オープンかつフェアに、正確かつ適切な情報を提供することで、ステークホルダーとの健全な関係の維持・向上に努めます。
- トヨタエナジーは、ステークホルダーからの批判・要望に耳を傾けます。
- トヨタエナジーは、他者への敬意と思いやりを忘れず、誹謗中傷となるような発信、トヨタエナジーの社会的信頼を損なう発信を行いません。

コミットメント

- ブランド価値向上の重要性を理解し、正確かつ適切な情報を伝えます。
- 会社から承認を得ない限り、トヨタエナジーを代表するような発言、報道機関へのコメントは行いません。報道機関など外部からの問い合わせを受けたときも、会社から承認を得ることなく答えません。
- ソーシャルメディアでの発言は個人のものであり、トヨタエナジーのものではないことを明確にします。
- オンライン上でのやり取りを含め、高い倫理観を持ち、礼儀・礼節をわきまえた広報・コミュニケーション活動を行います。
- お客様、ビジネスパートナー、会社、従業員などの機密情報を保護します。

第 3 章　誠実な事業活動

安全性の追求と製品・サービスの品質

私たちは、製品の安全性と高い品質を確保します。

方針

- トヨタエナジーは、製品・サービスの安全性を、最も優先すべき事項の一つとしています。
- トヨタエナジーは、安全で品質の高い製品・サービスをお客様に届けられるよう、研究開発・設計・生産・品質管理・アフターサービスに取り組みます。

コミットメント

- お客様の期待と信頼にこたえるため、製品・サービスの安全性と品質を確保します。
- 法令、規則およびトヨタエナジーの基準に従います。
- 製品・サービスの安全性や品質に関する懸念や問題があるときは、速やかに報告、対処します。

研究開発活動

私たちは、実直に研究開発を行います。

方針

- トヨタエナジーは、安全かつ高品質な製品・ サービスの提供に向けた研究開発を行います。
- トヨタエナジーは、最先端技術の研究開発を積極的に推進します。
- トヨタエナジーは、研究開発を行うにあたり、法令を守り、研究開発パートナーとの契約に違反することや、第三者の知的財産や機密情報を不正に使用しません。

コミットメント

- お客様第一のモノづくりのために、研究開発を推進します。
- 研究開発パートナーとの相互の信頼関係の維持に努めます。
- 研究開発および製品化にあたり、第三者の知的財産を尊重します。

調達活動

私たちは、最も高い倫理基準をもって仕入先などの取引先と事業を行います。

方針

- トヨタエナジーは、取引先との相互信頼に基づく相互繁栄を目指します。
- トヨタエナジーは、公正かつ合理的な基準に基づいて最良の取引先を選定します。

コミットメント

- 取引額や取引期間にかかわらず、すべての取引先と公平かつ誠実に取引を行います。
- 取引先について、適切な調査(デューデリジェンス)を実施するとともに、以下の基準で選定します。

  ・人権を尊重し、責任ある調達慣行に取り組んでいること

  ・トヨタエナジーの企業倫理観やダイバーシティへの取り組みを理解していること

  ・品質、価格、信頼性、技術的優位性と納期を含む客観的基準を満たしていること

- 意思決定の独立性が疑われるような、利益相反やそのように見える行為を行いません。
- 取引先からは、会社のルールの範囲内で、適切で合理的な金額の贈答や接待のみを受けます。

※指針となる資料

トヨタ自動車人権方針

仕入先サステナビリティガイドライン

営業活動と公正な競争

私たちは、高品質かつお客様のニーズを満たす製品・サービスを、公正な競争を通じてお客様に提供します。

方針

- トヨタエナジーは、お客様のニーズに合った魅力ある製品やサービスを開発し、公正な競争と信頼性のあるマーケティング活動を通じてお客様に提供します。
- トヨタエナジーは、販売店などのビジネスパートナーと信頼関係を構築し、相互の繁栄を目指します。

コミットメント

- お客様第一の姿勢を貫きます。
- 事実を正しく伝え、誤解を招かないような方法で製品・サービスを提供します。
- 広告やマーケティングでは、法令、規則および会社のルールに従い、十分に裏付けされた情報を伝えます。
- 価格やコスト等、競争にかかわる条件について競合他社と協議・合意はしません。

国際的な事業活動

私たちは、国際取引に関連する法令および規則を遵守します。

方針

- トヨタエナジーは、各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重し、その国・地域および国際取引における法令および規則を遵守します。

コミットメント

- 各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重します。
- 国際取引(輸出入)に適用される法令および規則を遵守します。
- 経済制裁、輸出規制の対象を確認するとともに、会社のルールを確認・遵守します。
- 貿易関連規制やルールを遵守し、分類、価額、原産国などを正確に記録、保管します。

正確な記録管理

私たちは、正確な記録管理を行い、経営の透明性向上を図るとともに説明責任を果たせるよう努めます。

方針

- トヨタエナジーは、正確で偽りのない記録を作成し、保管します。
- トヨタエナジーは、正確な財務状況を公正かつタイムリーに開示します。
- トヨタエナジーは、適正な納税を行います。

コミットメント

- すべての資産、負債、収入、支出を漏れなく正確に、適切な期間・勘定に、遅滞なく記録します。
- 完全で正確な記録を残すことにより、業務の効率化、リスクの軽減、規制の遵守を推進し、責任ある意思決定を行います。

資産の保護と機密管理

私たちは、あらゆるトヨタエナジーの資産を適切に管理します。

方針

- トヨタエナジーは、設備や機器などの有形資産、知的財産や機密情報などの無形資産いずれも適切に保護します。
- トヨタエナジーは、営業秘密などの情報資産を適切に管理・活用します。
- トヨタエナジーは、情報漏洩への対応など、適切なセキュリティ体制を構築し、継続的な改善を行います。
- トヨタエナジーは、開発の初期段階から「セキュリティバイデザイン」に取組み、製品のサイバーセキュリティを確保します。

コミットメント

- 会社の資金や資産を、会社のルールに従って誠実に取り扱います。
- 会社から支給されるパソコンや携帯電話、その他電子機器が会社資産であることを十分に認識し、利用します。
- 会社資産の棄損、乱用、紛失、盗難を防ぐために注意を払い、不適切な使用を目にした場合には会社に報告します。
- 機密情報、ITシステム、工場設備といった会社の資産を外部の攻撃やリスクから保護するために必要な方法を確認し、実践します。
- 技術、情報、ITシステム、インターネットを扱うときには、セキュリティを常に意識します。
- 必要な教育・訓練をタイムリーに受講し、セキュリティ意識の高い企業風土の醸成・維持に貢献します。

※指針となる資料

情報セキュリティ基本方針

オールトヨタセキュリティガイドライン

インサイダー取引

私たちは、未公表の重要事実に基づいて有価証券の取引を行わず、また、そのような情報を口外しません。

方針

- トヨタエナジーは、保有する未公表の重要事実が不当に開示・使用されることがないよう管理します。
- トヨタエナジーは、インサイダー取引を許しません。

コミットメント

- 適切な情報管理を行い、未公表の重要事実が漏洩しないようにします。
- 業務上共有が必要な相手とのみ未公表の重要事実を共有します。
- 未公表の重要事実を、家族、友人を含むいかなる者にも、いかなる方法によっても開示しません。
- 未公表の重要事実が公開され、法令、規則および会社のルールが定める時間が経過するまで、関連する有価証券を取引しません。

第４章　フェアな活動

贈収賄防止

私たちは、贈収賄および腐敗行為をしません。

方針

- トヨタエナジーは、決して賄賂の授受を行いません。
- トヨタエナジーは、ファシリテーションペイメントを行いません。

定義

腐敗行為とは、あらゆる不誠実な行為または職権の濫用行為を指します。

賄賂とは、不当な便宜を得ることを目的として、直接・間接を問わず、公務員や取引相手に授受される有形・無形の利益を指します。

ファシリテーションペイメントとは、行政サービスや許認可を円滑にするために、公務員個人に対して行われる支払いを指します。

コミットメント

- 賄賂の申出、提供、受領、要請を行いません。
- ファシリテーションペイメントを行いません。
- 取引相手が公務員かどうかを確認し、公務員との取引に適用される法令、規則および会社のルールに従います。
- 贈答・接待や、寄付・献金を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- 公務員から紹介を受けた人物および直近公務員だった人物を採用するときは、法令、規則および会社の採用ルールを遵守します。
- 適切な調査(デューデリジェンス)によるスクリーニングを行い、ビジネスパートナーを理解します。
- すべての取引を適正に記録し、保管します。

※指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

贈答・接待

私たちは、不適切な贈答や接待を行いません。

方針

- トヨタエナジーは、誠実な企業活動を通じて、ステークホルダーと長期にわたる強固な関係を築きます。
- トヨタエナジーは、正当な目的、かつ合理的な金額の範囲内で贈答や接待を行います。

コミットメント

- 贈答・接待に関する法令、規則および会社のルールを遵守します。不当な取引上の便宜を獲得する目的で贈答や接待を行いません。
- 贈答や接待を行う際は、正当な目的、かつ合理的な金額の範囲内で行い、すべての支出を記録します。
- いかなる相手にも贈答や接待を要求しません。
- 取引先から贈答や接待の申出があった場合には、正当な目的があり、かつ合理的な金額の範囲内のものである場合にのみ応じ、会社のルール(基準額など)に従って承認を取得します。但し、それが取引に影響を及ぼすような場合には、応じません。

※指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

マネーロンダリング防止

私たちは、マネーロンダリングからトヨタエナジーを守ります。

方針

- トヨタエナジーは、信頼できるお客様やビジネスパートナーと取引し、マネーロンダリング防止に関する法令および規則を遵守します。
- トヨタエナジーは、マネーロンダリングを許しません。

定義

マネーロンダリングとは、犯罪行為で得た資産を、出所を隠して、正当な資産であると見せようとする違法行為のことです。

コミットメント

- 適切な調査(デューデリジェンス)を通じて、お客様、仕入先その他のビジネスパートナーが違法行為に関与していないかを確認します。
- 現金による多額の支払いを要求された場合、通常の対価以上の金額を支払うことを提案された場合、支払いを行った口座とは異なる口座への返金要求を受けた場合など、マネーロンダリングが疑われる状況への警戒を怠りません。
- 不審な取引を知った場合、会社が適切な措置を講じられるよう、速やかに会社へ報告します。

利益相反

私たちは、利益相反行為を行いません。

方針

- トヨタエナジーは、従業員が職務にあたって、個人の利益を追求し、会社と利益が相反する行為(利益相反行為)を行うことを許しません。

コミットメント

- 誠実に行動します。
- トヨタエナジーの事業のために、最善を尽くします。
- トヨタエナジーの利益を損なう、あるいは損なうように見える、以下のような行為を行いません。
  - ・家族、恋人、親しい友人の雇用を不当に優遇すること
  - ・トヨタエナジーと競合関係にあるビジネスに関わること
  - ・トヨタエナジーの財産、情報または立場を利用して個人的な利益を得ようとすること
  - ・トヨタエナジーの取引先に多額の投資を行うこと
  - ・家族、恋人、親しい友人が経営を行っている会社等と、トヨタエナジーとの取引に関わること
  - ・トヨタエナジーを代表して交渉中の取引先から、贈答品を受け取ること
- 利益相反が生じている場合や生じる可能性がある場合には、その状況、取引、関係について会社に報告します。

※指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

スピークアップ

トヨタエナジー行動指針は、できる限り様々な状況での我々がとるべき行動の指針や考え方をまとめていますが、それでも、自分の行動に確信がもてないときや、職場での不正やその疑いに気づいたときは、上司や社内の専門部署に相談、報告してください。また、トヨタ連結ヘルプラインやオールトヨタスピークアップ窓口に相談することもできます。
実際に相談するときに事実を完全に把握している必要はありません。むしろ、会社がタイムリーに対応できるように速やかに相談することが重要です。
トヨタエナジーは、トヨタエナジー行動指針に反する行為に厳格に対処します。受領した相談を公正に調査して、必要な再発防止に取り組みます。

通報者保護

トヨタエナジーでは、スピークアップをした従業員(通報者)や調査に協力した従業員に対して、通報や調査協力を行ったことを理由として、不利益な取り扱い(解雇、降格等)をしません。通報者や協力者を探索したり、不利益な取り扱いをしたりした者は、懲戒処分を受ける可能性があります。万が一、探索行為や不利益な取り扱いがあった場合には、直ちに報告してください。

スピークアップの方法

スピークアップには以下のような方法があります。

上司への相談：あなたの直属の上司、またはあなたの所属する組織以外の管理監督者にも相談できます。

社内の専門部署：自社の人事部門、法務部門、コンプライアンス部門などの専門部署に相談することができます。

スピークアップ窓口：以下に示す専用の窓口を利用することができます。法律で禁止されていない限り、匿名で相談ができます。

グローバルスピークアップライン＊	誰でも利用可能で、様々な言語に対応しています。 [利用方法] ポータルサイト http://toyotaglobalspeakup.com メール：SpeakUp@toyota.com

＊グローバルスピークアップラインは、トヨタ自動車が運営しており、社外の委託先が受付しています

相談、報告の方法について、より詳細を知りたいときには
トヨタスピークアップポリシーをご参照ください。